※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０８

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年
使用教科書	図説　家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	図説 家庭基礎準拠学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
- 生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め、知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
- 学んだことを自分と自分の周りの人の生活の問題として捉え、家庭、地域社会、社会全体をよりよくしていくことを目指しましょう。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

（１）人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。実践を評価・改善し考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。これを各単元で行うことで生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ○人生80年を見通す ・生涯発達の視点 ・青年期の生き方について考える ○目標をもって生きる ○現代の家族をとりまくことがら ○ライフプラン	a:青年期の課題について理解し、生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて考察し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識と事例研究などを通して、青年期の生き方や家族、家庭の在り方について検討する技能を身に付けている。 b:青年期にある自分を見つめ、生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 青年期の生き方、家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり
	食生活をつくる	○私たちの食生活と健康 ○食事と栄養・食品の選択 ○食生活の安全と衛生 ○食生活と環境のかかわり ○調理の基本 ＊調理実習・実験計3回	a:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識と技能を身に付けている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり
	生活に生かそう	○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 調査研究 ＊食生活テーマ	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識、技能を身に付けている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。		レポート	レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	衣生活をつくる	○繊維の種類と機能 ○被服の管理と計画 ○これからの衣生活	a:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技能を身に付けている。被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 作品	定期考査 作品 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり
	子どもとかかわる	○子どもを知る ○親になることを考えよう ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育 ＊ふれあい親子交流	a:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識と子どもと適切に関わり、子どもの健やかな発達を支える技能を身に付けている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり
	住生活をつくる	○これからの住まいを考える ・安全で快適な住居	a: 安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技能と住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

	高齢者とかかわる	○高齢社会に生きる ○高齢者の心身の特徴 ○高齢社会を支えるしくみ ＊オンライン交流	a: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識と高齢者と適切に関わり、高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり
3学期	社会とかかわる	○共に生きるために ○社会保険制度 ○社会の一員としての私たちの役割	a:地域で行われているコミュニティ活動やNPO活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技能と共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c: 共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり
	経済的・消費者として自立する	○家計と経済のかかわり ・収入と支出を把握する ・キャッシュレス社会のメリットとデメリット ・長期的な経済計画を立てる ・経済の中の家計 ○消費行動と意思決定 ・契約と主体的な消費行動 ・消費者をめぐる問題 ○持続可能なライフスタイルと環境	a:家計の構造や家計と経済のかかわりを理解している。また、消費行動における意思決定や契約の重要性を理解し、それに関する情報を適切に収集、整理できる。そして、生活と環境を考慮した持続する消費行動について理解し、行動している。 b:生涯を見通した家計計画や管理の重要性について考察している。また、自立した消費者として、適切な意思決定による消費行動の工夫をしている。そして、持続可能な社会を目指して安全で安心な消費行動を工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ふりかえり	ノート ワーク 観察 ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。
※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。
※　学校行事や日程の都合等により、実験・実習の回数や時期、内容等、変更される可能性があります。